

# 大阪市立 瓜破西小学校



**住所** 〒547-0025 大阪市平野区瓜破西 2-1-43

**連絡先** ☎ 06-6704-0200 📠 06-6797-5065

**校長** 寺岡 裕芳

**開校** 昭和 49 年度

**URL** <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751738>



## 教育目標

確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体を育成する

## 重点目標

【目指す子ども像】

- 主体的に学び、考え、ねばり強く取り組む子
- 互いの良さを認め合い、自分と友達を大切にする子
- 健康や体力の向上に努める子

## 教育方針

- 感動することが子どもたちの感性を豊かにし、憧れが頑張る力を生み出すと考え、文化やスポーツにおいて「本物に触れる機会」や「体験を通して実感を持って学ぶ」ことを重視するとともに、様々な分野のゲストティーチャーを招いた出前授業を多く取り入れています。

今年度も、動物(ヤギやウサギなど)の飼育や田んぼ作り、植樹・緑化・栽培・堆肥作り、ビオトープ活用など、自然豊かな東運動場の特質を最大限に生かした活動を推進しています。

- 基本的な生活習慣を大切に、特に、あいさつ(おはよう、こんにちは、さようなら、ありがとう)を重視しています。



## 運営に関する計画

### 【中期目標】

- 学校生活は楽しい ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- じぶんからあいさつをしている ⇒ 最も肯定的な回答70%以上
- 点検表どおりのそうじができてい ⇒ 最も肯定的な回答68%以上
- こどもはよく本を読んでいる ⇒ 肯定的な回答65%以上
- よく宿題をしている ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- 授業中話し合う活動ができた ⇒ 最も肯定的な回答60%以上
- 教育コミュニティづくりを推進し、地域との新たな取り組みを開発する。
- 学校の中で地域の人とふれあう機会がある ⇒ 肯定的な回答75%以上
- 校内研修が充実している ⇒ 肯定的な回答75%以上



### 校長先生からのメッセージ

本校は、「地域や社会に開かれた学校」を目指す学校像として、地域と深く関わり、地域を愛し地域の方々から愛される学校を目指しています。また、一人一人の子どものよさや可能性を伸ばし、子どもたちが個性豊かな花を咲かせる「笑顔あふれる花園」の実現を願い、思いやりがあり助け合う仲間集団、わかる・できる喜びがある授業、安心できる学校、楽しいことがある学校で、子どもたちが笑顔で毎日を過ごせるよう教育活動を進めています。

本校には、クローバーやタンポポが生い茂り、果物が実り、ヤギのアトリやウサギなどの動物と触れ合える自然豊かなアトリパークがあります。ビオトープや学習園、様々な生き物や草花を通して四季折々の自然や季節の移ろいを肌身で感じることができ、子どもたちに情緒豊かな心が育っています。



校長 寺岡 裕芳

## R5 年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	
59	52	平均正答率(%)

### ●結果と概要

今年度の調査の結果、国語・算数とも平均正答率が全国平均正答率を下回った。全国平均との乖離率は、国語(-8.2%)、算数(-10.5%)と特に算数での乖離率が高い。

平均無解答率は、全国平均無解答率と比べ、国語(-1.8%)、算数(-0.3%)と、算数での無解答率が高い。

### ●取組の成果と課題

#### 【国語】

大阪市の学力向上支援のもと習熟度別学習や学力サポーターによる授業支援を精力的に行ってきた結果、粘り強く解答する児童が増えた。その結果平均無解答率は、令和3年度7.7%、令和4年度7.4%、令和5年度は3.0%と年々改善されている。国語科では、これまで「書くこと」への研究や取り組みが良い結果とつながっている。令和5年度は「話すこと・聞くこと」に課題が見られた。書く力を、話す・聞く力へどうつなげるかの授業改善が必要であり、国語の学習において、接続語や主語述語の關係に着目するなど、言葉の使い方に関する指導の充実を図っている。

今後も継続して、学習活動全体で言語力が育成できるようにしていく。

#### 【算数】

すべての単元で習熟度別少人数指導を実施し、個に応じた指導を行っている。放課後学習やモジュール学習を通して基礎基本の定着を図ってきた結果、算数科は正答率や無解答率が全国平均と比べ昨年度より改善された。しかし、昨年度同様「C変化の關係」「Dデータの活用」が特に低く、基礎基本の定着だけではなく、割合の立式を考えたり、表やグラフを読み取ったりする思考・判断・表現を授業の中で育成できるようにすることが課題である。

引き続き算数科の研修や校内研究を充実させ、算数科の指導力向上に努める。

## R5 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	16.88	18.63	33.46	33.88	40.50	9.53	136.71	19.96	49.13
女子	13.92	18.96	36.96	32.76	35.08	10.11	122.84	13.16	49.50

### ●結果と概要

体力合計点において、全国平均値と比較すると、男子は3.46ポイント、女子は4.78ポイント下回った。

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問に対して、男子は87.5%、女子は80.0%(全国平均男子92.9%、女子85.7%)が肯定的な回答をした。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は17.4%、女子は25.0%(全国平均男子9.0%、女子16.3%)だった。

### ●取組の成果と課題

#### 【成果】

体づくりや運動に親しむ態度の育成を軸にした活動として、体育開始時の準備運動としてのラジオ体操や全校大なわ大会を、年間を通して実施した。毎週金曜日の休み時間には、全校ラジオ体操タイムを実施し、地域の方々との交流も行った。また、足腰の強化に重点を置いた運動として、かけ足運動週間やなわとび週間を設定し実施した。

#### 【今後の課題】

握力で、男子が0.75ポイント、上体起こしで女子が0.91ポイント上回った。一方で、反復横とびや立ち幅とびが大きく下回っており、敏捷性や瞬発力に課題のあることが分かった。

今後も、今年度取り組んできた実践を踏まえ、明らかとなった課題の解決へとつながる効果的な取組となるように精査していく。

## 学校の特徴

### 地域に開かれた学校



本校では地域の方にご協力いただきながら、様々な体験活動に取り組んでいます。5年生の田植え・稲刈りなどの自然体験、6年生の間伐材活用制作、3年生の昔遊び体験などの文化・生活体験をします。

また、毎週金曜日には全校ラジオ体操を地域の方と一緒にしています。今後も「地域や社会に開かれた学校」の実現を目指し、学校だけでなく、地域・家庭と連携しながら子どもたちの成長を支えたいと考えています。



### 充実した学力保障



「学力向上支援チーム事業」の重点支援校として、学びコラボレーターを中心に、①学習規律の充実、②授業の充実、③学級経営の充実、④大学等連携の充実を図っています。いずれの取組においても、子どもたちの主体的な学びを目指し、子どもの実態に合わせた学力保障を行ってまいります。

### 瓜西ネイチャークラブ

太鼓クラブと同じく、放課後の自主活動の取り組みとして瓜西ネイチャークラブが平成30年1月に発足しました。3年生がネイチャーキッズとして、4年生以上がネイチャークラブとして活動を行っています。



本校自慢の自然豊かなアトリパークを活動の拠点とし、ヤギのアトリくんのお世話や、野菜の栽培活動、ピオトープの観察など、地域やPTAの方々にご協力いただきながら行っています。



### 太鼓クラブ

放課後の自主活動として、4年生以上の子どもが太鼓クラブの活動をしています。和太鼓の演奏を通して、日本の伝統文化に親しみ、豊かな感性を養うことや、奏法を習得する過程において、根気強さや協調性を育むことを目指して活動を行っています。運動会や地域の行事など、様々な場面で演奏を披露しています。

